

[illegible]

共通事項	■事故が起きた時の対応 ・接触事故や落車、メカトラ（バンクなど）があった場合はすぐに現場へ急行する。 （1）当事者の保護と 後続選手を含めた競技の安全確保を最優先とし、ボランティア、応援者やＴＯが事故に巻き込まれ2次被害が発生しないよう誘導する。 （2）当該選手及びバイクをコース端に誘導する。 （3）競技続行が可能かどうか判断する。（選手の意思が優先されるが、怪我の度合い等でＴＯが続行不能と判断する場合もある。） （4）怪我の重軽度によって、以下の対応をとる。 ・選手への対応はマスク、手袋装着の上、行うこと。 ・メディカルテントへ案内する。救急救命士に声をかける。なお、救命救急士はＡＥＤなどを所持し、マウンテンバイクや徒歩によりコース沿道で待機しています。（ボランティアに呼んでもらうとよい） ・選手の意識がない場合、骨折あるいは多量の出血が認められる場合は直接 1 1 9 番に連絡し救急車を呼ぶこと。その後、無線や携帯にてチーフへ連絡し、指示を仰ぐこと。（怪我の報告をする際は、①レースナンバー②氏名③症状の詳細④事故の場所を伝える。） ・1 1 9 番へ対応している人の ①氏名②年令③症状の詳細④事故の場所は必須です ・その後直ちに事故発生地点、時刻、選手の状態とレースナンバーを確認して大会本部に無線連絡する。		
	■ペナルティ 適用ルールは以下を参照のこと。 https://archive.jtu.or.jp/jtu/pdf/rulebook_20190123.pdf（バイクパートP 39 ～、ドラフティング関連 P50～） ドラフティング禁止。ドラフティングゾーンは前走者のバイク前輪先端より後方 1 0 m。並走の場合もドラフティングとなる。 ドラフティングを注意する場合にはストップさせず、ホイッスル→ナンバーコール →（ブルーカード）ペナルティ宣告 → ペナルティボックス。 定点審判員は該当選手に注意を促し、それでも駄目なら無線あるいは携帯でチーフに時間、場所、レースナンバーを連絡すること。→ チーフより本部に連絡。 ペナルティ宣告は審判長権限とする。		
	■ドラフティング・キープレフトの対応 ・ドラフティングが否かは、「追い抜く意思を持って前に進んでいるかどうか」「故意に並走していないかどうか」 ・ブロッキングが否かは、「追い抜いたあとスピードを維持し、追い抜き完了後、キープレフトしたか」 ・追い抜く時以外はキープレフトを維持しなければならない。左側追い抜きを発見した場合（もちろん左側追い抜きは禁止だが） 追い抜いた選手と同時に、これを誘発した「センター寄り走行の選手」にも注意を与える。（安全走行違反の注意） いずれも、選手をしっかりと観察して、動いて、声を出して、違反行為を制止する。いずれも、選手をしっかりと観察して、動いて、声を出して、違反行為を制止する。 ・モーターバイクＴＯおよびモーターバイクに同乗するＴＯ２名が中心に基本対応する。 ・バイクの流れが試算によると、1 選手/9mの時間が最低 1 時間あり、エイジでは選手の安全確保が最優先で、注意対応が主で、余程悪質なドラフティングやスポーツマンシップに反する次の行動でない限りタイムペナルティは取らないと考える。 ⇒注意対象：同じチーム、女性を引っ張るような場合等		
	■リタイア時の対応 TOはリタイアの意思、レースナンバーと氏名を確認し、選手がはずしたアンクルバンドを回収する。 ① TOはエリアチーフに口頭で報告し、アンクルバンドを渡す。 ② エリアチーフは本部に無線で以下を報告する。アンクルバンドはレース終了後、本部に届ける。 ・レースＮｏ． ・リタイアの理由 ・救護の要否 ・アンクルバンド回収状況 ③ チーフは「リタイア選手リスト」を作成し、レース終了後HRに提出する。 ④ 自力で帰還可能な選手については、歩道を徒歩にて戻ってもらう。→ TOが方向を案内する。必要に応じてエマージェンシーブランケットを提供する。		
	■車両の出庫 ・山下ふ頭からの車両出庫の可能性あり。7 時までの出庫を原則とするが、遅れる可能性あり。 ※ふ頭内事業所の夜勤者が帰宅するが、交通規制開始前までに出不着なことが毎年発生 ・B4,D1担当TOは警備員と協力して誘導する。		

エリアチーフ 小原 S C T O	山下公園中央口～山下ふ頭入口付近（B-1～B-4）		
	備品 サイネージ	竹ぼうき(3)、トラム* (1)、ガムテープ（白、赤、黄 1 組）(2)、赤白旗(1)、養生テープ(2)、ビニール袋(10)、軍手(10)、イメージブランケット(3)、コーン連結用テープ（1） 右Uターン看板大小(1)、TIMELIMIT(1)、フィニッシュ/周回分岐大小(1)、減速(4)、右折(1)、左折(3)、右矢印(2)	
	B1	・バラ（TRI-1）選手のラン（ホイールチェア）フィニッシュや緊急時の医療スタッフを乗せたモーターバイク出入口として鉄柵の開閉移動があるため、移動する柵へはバナー設置やタイラップ止めは実施しないように設備担当と調整する。 ・バラ（TRI-1）選手のバイク（ハンドサイクル）フィニッシュの公園入口左折コース設営に注意。 ・バラ（TRI- 1）選手のランフィニッシュ対応 ランコース誘導地点のホテルニューグランド前に接近していることを本部まで伝える。その後、鉄柵の移動とトラロープ張りはエリアチーフSCTO、TOが現場スタッフへ指示し行う。 山下公園内のバラ（TRI- 1）選手ランコースにおける観客誘導（横断路対応）を行う。SEA・ランTOにも協力を依頼する。 ・折返し地点を選手にわかりやすく案内するために、手前に案内板を設置する。 バラ選手にもわかるように低い位置での視認性に注意。T Oは「スローダウン」「折返し」のアナウンスを行う。 ・折返し後にバイクフィニッシュ／周回の分岐がある。手前に案内板を設置する。	
	B2	・乗車後のスタート／周回合流 ・走行が安定するよう十分な区間を確保する。衝突を避けるコースづくり ・12:35以降は新規に周回コースに入れず、乗車ライン先にて、カットオフ（DNF）を実施する。	
	B3	・山下埠頭と山下公園間のバイク対面かつ左折・右折箇所であり、コース設営注意 ・走行が安定するよう十分な区間を確保する。衝突を避けるコースづくり	
	B 4	・早朝、山下ふ頭からの車両出庫の可能性あり ※ふ頭内事業所の夜勤者が帰宅するが、交通規制開始前までに出不着なことが毎年発生 ・エイジバラTRI-1のラン（ホイールチェア）〔該当者 1 名〕誘導をD1のTOとともに行う ・山下埠頭と山下公園間のバイク対面箇所であり、コース設営注意 ・山下橋へ向かうバイクと山下橋から下りるバイクが対面になるので、コース設営注意	
		※ 乗降車ライン付近の設営はトランジションTOが担当するが、フィニッシュ/周回分岐、スタート/周回合流等、安全性を確保できるよう、バイクTOはアドバイスおよび設営協力する ※ 分岐を誤った選手の対応はトランジションTOが担当するが、必要に応じてサポートする	
エリアチーフ 中尾 S C T O	新山下方面（B-5～B-9）		
	備品 サイネージ	竹ぼうき(3)、トラム* (1)、ガムテープ（白、赤、黄 1 組）(2)、赤白旗(1)、黄旗(1)、養生テープ(2)、ビニール袋(10)、軍手(10)、イメージブランケット(3)、コーン連結用テープ（1） 横断路(2)、横断路内左側通行(2)、右Uターン看板大小(1)、右矢印(1)、減速(2)	
	B5	・高架で狭いため、T Oの配置や落下物の対応に注意（復路は歩道がなく、堀も低いのでT Oは注意）	
	B7	・横断路対応（貯木場入口信号） → イベント会場、商業施設は開店しており横断を要求されることがある。 センターライン付近に待機エリアを準備し安全を確認しながら片車線ずつ横断させる。 横浜ベイホールのHPでは5/14（日）のイベントは無し 商業施設は 1 0 時～営業 B5担当 T Oのトイレ休憩をケアするため、時間を決めて交替する。	
	B9	・封鎖横断路監視対応（見晴橋入口信号） 現場スタッフともに対応。 ・折返し地点はスローダウンアナウンス。	
			バラTRI-1 フィニッシュ 山下公園 トラロープ 転換8時30分ごろ 山下公園東口 交差点 山下公園中央口 交差点 カナル ニューグランド
		バラTRI-1誘導 エイジバイク TRI-1選手	

エリアチーフ 清水SCTO	山下ふ頭1（D-1～D-4）※設営班：金沢区	
	備品	竹ぼうき(3)、トラム [®] (1)、ガムテープ（白、赤、黄1組）(2)、赤白旗(1)、養生テープ(2)、ビニール袋(10)、軍手(10)、イメージインジプ [®] ランケット(3)
	サイネージ	右矢印(3)、右折(1)、左折（2）
	D1	・早朝、山下ふ頭からの車両出庫の可能性あり ※ふ頭内事業所の夜勤者が帰宅するが、交通規制開始前までに出きらないことが毎年発生 ・エイジバラTRI-1のラン（ホイールチェア）〔該当者 1 名〕の走行時に、山下埠頭から山下公園への走路を作るためにコースの導流帯を作る（エイジバイクと合流に注意）。また、誘導はSCTOおよびB4のTOとともに行う。 ・線路跡に注意のこと。
	D2	バイク対面箇所であり、コース設営注意 山下橋方面前の減速対応を行う。特に道路の補修されていない直線溝があるため、コーンで走行路をRをとって緩やかにする。
	D4	バイク対面箇所であり、コース設営注意 ※路面状態が悪い箇所は避けるようにコーンを適切に設置し、コースを設定する。 ※鋭角に曲がる場所には、事前にR部分を付けて曲がり角に減速して入るような設定を施す。
エリアチーフ 山田SCTO	山下ふ頭2（D-5～D-7）※設営班：泉区	
	備品	竹ぼうき(3)、トラム [®] (1)、ガムテープ（白、赤、黄1組）(2)、赤白旗(1)、養生テープ(2)、ビニール袋(10)、軍手(10)、イメージインジプ [®] ランケット(3)
	サイネージ	斜め右折(1)、斜め左折(1)、右折(1)、左折(1)
	D5	・バイク対面箇所であり、コース設営注意 ・緩やかな曲がりがあるので注意
	D7	・バイク対面箇所で、かつ曲がり角であり、コース設営注意。往路・復路ともRを事前に付けたコース取りを考慮した設営とする。 ・曲がり角の走行に注意 ・SCTO・D8側と協力して、緩衝帯配置を現場検討する。
	※路面状態が悪い箇所は避けるようにコーンを適切に設置し、コースを設定する。 ※鋭角に曲がる場所には、事前にR部分を付けて曲がり角に減速して入るような設定を施す。	
エリアチーフ 陣川SCTO	山下ふ頭3（D-8～D-13）※設営班：鶴見区	
	備品	竹ぼうき(3)、トラム [®] (1)、ガムテープ（白、赤、黄1組）(2)、赤白旗(1)、養生テープ(2)、ビニール袋(10)、軍手(10)、イメージインジプ [®] ランケット(3)
	サイネージ	右折(2)、左折(1)
	D8	・バイク対面箇所で、かつ曲がり角であり、コース設営注意。往路部分はRを事前に付けたコース取りを考慮した設営とする。 ・曲がり角の走行に注意 ・SCTO・D7側と協力して、緩衝帯配置を現場検討する。
	D9	・緩やかな曲がりがあるので注意
	D11	・曲がり角であり、コース設営注意。門扉のマンホールに注意したコース設営を実施する。
	D12	・曲がり角であり、コース設営注意。 ・ガンダムファクトリー従業員が歩道を通行することが想定されることに注意。出入口はガンダムファクトリーの正面側であるので留意（普段は従業員専用の出入口〔裏手〕は5/14は締切り）
	D13	・ガンダムファクトリー横の従業員専用出入口は当日の閉鎖であるが、従業員が出入りするようであれば正面に回ってもらうよう声掛けする。
	※路面状態が悪い箇所は避けるようにコーンを適切に設置し、コースを設定する。 ※鋭角に曲がる場所には、事前にR部分を付けて曲がり角に減速して入るような設定を施す。	
エリアチーフ 込山SCTO	山下ふ頭4（D-14～D-18）※設営班：都筑区	
	備品	竹ぼうき(3)、トラム [®] (1)、ガムテープ（白、赤、黄1組）(2)、赤白旗(1)、養生テープ(2)、ビニール袋(10)、軍手(10)、イメージインジプ [®] ランケット(3)
	サイネージ	斜め右折(1)、斜め左折(3)、右折(1)、減速(4)
	D15	・ゲート部分は対面コース部分であり、注意。 ・埠頭の岸壁近辺部分ではグレーチングが2ヶ所あり、その間をコース設定とするが岸壁から遠い側の段差が小さいグレーチングを乗り越え横断する箇所に注意。 ・岸壁に近いコーナーには、鉄柵が安全性のため設置される。視認性用のバナーは強風のため設置はないので適宜コーン等に対応すること。
	D16	・岸壁に近いコーナーには、鉄柵が安全性のため設置される。視認性用のバナーは強風のため設置はないので適宜コーン等に対応すること。（こちら側のコーナー奥は大丈夫かもしれない）
	D17	・ゲート部分は対面コース部分であり、注意。また、D18方向には段差を乗り越える補修がしてあることに注意。
	D18	・段差には補修がしており、注意。 ・段差からゲート部分の路面は荒いので注意。
	※路面状態が悪い箇所は避けるようにコーンを適切に設置し、コースを設定する。 ※鋭角に曲がる場所には、事前にR部分を付けて曲がり角に減速して入るような設定を施す。	
チーフ 野間CTO サブチーフ 竹内SCTO	モーターバイク	
	備品	ビニール袋(10)、軍手(10)
	サイネージ	TO（前後6）、先導(前後2)、最後尾(前後1)
	・モーターバイクの待機場所は山下ふ頭内のメディカルテント横 ・モーターバイクの運転・同乗者に向けて オートバイに乗車する者は、誰もがヘルメット、長ズボンおよびサンダル等でない靴を着用すること オートバイと自転車競技者、車両、歩行者および障害物との安全な間隔を保持すること。 同乗者もUターンや加速時に特段の注意をもって対応すること。 参考資料 World Triathlon Event Organiser's Manual EOMの TO-ドラフティング禁止のバイク、オートバイの運転者へのインストラクション・・・P 238～241 モーターバイク・・・P 247 （放送関係 モーターバイク移動・・・P 432～434） を参照のこと https://www.jtu.or.jp/wordpress/wp-content/uploads/2020/11/ITUEventOrganisersManual2019.pdf	
	エイジバラ での対応 ・TRI-1選手（1名）のバイク（ハンドサイクル）・ラン（ホイールチェア）の追走を行う。 エイジバイク並走時の安全確保のため、及び、D1/B4での通行およびB1地点で山下公園内へ入る際の鉄柵の移動のコントロールを行うために、無線連絡を適宜行う。 D1/B4地点に近づいたら、山下埠頭エリアチーフ（陣川SCTO・清水SCTO；その際に該当地点に居る）に無線連絡する 山下公園中央口B1に近づいたら（マリンタワー～ホテルニューグランド前）、ランコース誘導地点 ホテルニューグランド前に接近していることを、レースナンバーと共に、本部および山下公園エリアチーフ（小原SCTO）に無線連絡する。 ・鉄柵の移動はとエリアチーフ（小原SCTO）、TO 及び現場スタッフが実施する。 ・TRI-1選手用にペットボトルを用意する（本部で入手のこと） 最終（バイクコースクリア）対応 エイジバイク関門後の最終選手にモーターバイク（野間CTOバイクに白石CTOが同乗）で付いて、グリーンフラッグを掲げる。 定点TO、警備員、整理員に状況を伝達する。 ＊グリーンフラッグ：全選手がバイク競技を終了	

D1,2往路復路
直線溝有り注意



バラTRI-1誘導

